



# ガストーチバーナーの取扱いにご注意を！！

昨今のキャンプブームやコロナ禍で増えたおうち時間でのおしゃれな炙り料理に欠かせないガストーチバーナー。お手軽に高出力の炎が使えることで需要が高まり各家庭に広まっています。

しかしながらそのお手軽さ、便利さゆえに正しい使用方法を把握せずに使用してしまう人も多く、年々ガストーチバーナーに関する事故件数は増加傾向にあります。

## 事例① 「取り付け部分から漏れたガスに引火」

ガスボンベと器具が正しく取り付けられていない状態で使用したり、器具の接合部パッキンが繰り返しの使用や経年により劣化している場合、接合部より漏れ出したガスに引火してしまいます。

※正しく取り付けられていない状態で火をつけると・・・。



引用元:nite(独立行政法人 製品評価技術基盤機構)

こんな状況になることが！！



## 事例② 「傾け(逆さ)使用による異常燃焼」

廉価品の中には、傾けたり逆さにして使用するとガスボンベ内部のガスが液状のまま噴出し異常燃焼を起こすものがあります。

(逆さ使用による異常燃焼)



(傾け使用による異常燃焼)





## 事故を防ぐための3つのポイント



### その1. 取扱説明書をしっかり確認しましょう

市販のガスボンベに取り付けるだけで簡単に使用できるだけに取扱説明書を読まず使用してしまいがち。

購入後に一度取扱説明書に目を通し、適切な取付方法や逆さや傾け使用が可能な商品であるか等、しっかりと確認しましょう。

### その2. 使用前には取付状況を確認しましょう

慌てて器具を装着したり、慣れによる取付状況確認の省略はガス漏れなどのトラブルの原因となり、このような心理状態でトラブルが発生すると焦ってしまい判断を誤り、最悪の場合は火災の発生に繋がります。器具を取り付けたら、火をつける前に一度必ず確認をしましょう。

### その3. 極端な廉価品にはご注意を！！

インターネット販売や中古品など、近年では国産メーカーの商品と比較すると非常に安い価格で販売されているものも散見されます。しかしながら、そのような廉価品の中には部品や仕上げが粗雑なものや備えるべき安全性能を有していないものもあります。

**異常燃焼**が起きてしまったら・・・



#### ・落ち着いて対処することが何よりも大切です。

異常燃焼を起こしても、すぐに火が拡大し火災となることはありません。**落ち着いて火力調整バルブを閉める、または水を張ったバケツ等の中につけ込み、消火してからバルブを閉めます。**ガストーチバーナーは、水をかけただけでは消えません。

慌てて対処すると火傷や火を拡大させてしまう可能性があります。

#### ・使用時は周りに燃えやすいものを置かない。

火は便利なものであると同時に危険なものであるという認識を持ち、自分はもちろん家族や友人を怪我させ、大切な財産を燃やしてしまわないよう注意して取り扱しましょう。